

地域づくりセンター瓦版

「防災まちづくり講演会」開催

平成19年度から継続的に美波町を来訪されている神奈川大学経済学部佐藤孝治教授をお招きし、8月2日(金)、由岐公民館において「防災まちづくり講演会」を開催、60名余の方にご参加いただきました。

佐藤教授には、『東日本大震災の社会経済的な影響－南海トラフ巨大地震に備えて三陸沿岸の経験から学ぶこと－』と題して、ご講演いただきました。

三陸沿岸の経験から学ぶこととして、人口減少・高齢化の進行した地域での減災や事前復興まちづくり、役所・学校・病院・避難所等の安全対策の再確認、避難所や仮設住宅での高齢者の健康・寒冷対策・孤独対策、女性のための防災対策などを強調されていました。

地域づくりセンターでは、今後も持続可能なまちづくりに関する講演会等を開催していきますのでご期待ください。



「平成25年度 JICA 集団研修」開催

独立行政法人国際協力機構(JICA)の集団研修として、8月28日(水)、12カ国の研修生が由岐湾内を訪れました。

徳島県南部総合県民局津波減災部より、徳島県南部地域における防災・減災への取組について説明があった後、徳島大学・美波町地域づくりセンターの誘導のもと、由岐湾内の町や防災施設を歩きながら見て回りました。

昼食後、由岐湾内3地区自主防災会の取り組みについて説明があり、由岐湾内3地区自主防災会会長との意見交換も行いました。研修生からは、自主防災活動の工夫や苦勞、運営や活動資金の確保の仕方などについて質問が沢山あがり、有意義な研修となりました。

地域づくりセンターでは、美波町内外からの研修・視察を人数・所属を問わず受け入れておりますので、お気軽にご相談ください。



防災Topics

「特別警報」運用開始

気象庁は、近年の大規模災害時における警報発表に対する効果の反省を踏まえ、8月30日(金)から新たに「特別警報」の運用を開始しました。

「特別警報」は、これまでの警報の発表基準をはるかに超える豪雨や高潮、地震や津波等(「東日本大震災」における大津波や「伊勢湾台風」の高潮、「平成23年台風第12号」の豪雨等が該当)が予測され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合に発表し、最大限の警戒を呼び掛けます。

「特別警報」が出た場合、お住まいの地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。ただちに命を守るための行動をとってください。